

「^{ふるさと}手づくり郷土賞」認定証伝達式を美幌町で開催します

～「^{こまおいがわ}駒生川に魚道をつくる会」が大賞部門を受賞～

令和3年度「^{ふるさと}手づくり郷土賞」（国土交通大臣表彰）の認定証伝達式を、以下のとおり美幌町において開催します。

伝達式では、北海道開発局長から受賞団体（^{こまおいがわ}駒生川に魚道をつくる会）に認定証及び副賞の楯をお渡しします。（式次第は「別添1」参照）

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を「^{ふるさと}手づくり郷土賞」（別紙「参考資料」参照）として表彰しています。

令和3年度は全国各地から応募のあった大賞部門3件の中から、優れた取組として北海道内から「^{こまおいがわ}駒生川に魚道をつくる会」1件が選定されました。（活動の詳細は「別添2」参照）

【認定証伝達式】

受賞件名：手づくり魚道の完成が出发点！～SDGs時代の川との付き合い方～

受賞団体：^{こまおいがわ}駒生川に魚道をつくる会（美幌町）

日時：令和4年4月22日（金）10：00～

場所：美幌町役場 2F会議室（網走郡美幌町字東2条北2丁目25）

※伝達式（認定証伝達・副賞贈呈）は公開で行います。取材を希望される方は、「別添3」の申込書により4月19日（火）17時までにお申し込み願います。

※取材される場合は、伝達式開始時間の5分前（9：55）までに会場にお越しください。

※記念撮影終了後に、受賞団体との取材時間をご用意します。

※新型コロナウイルス感染対策のため、取材の際にはマスクの着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によって、開催方法の変更又は開催中止となる場合があります。その場合は取材を希望されている方へ、前日までに連絡をさせていただきます。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発調整推進官 藤田 純一（内線 5475）

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 風間 隆之（内線 5470）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和3年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」認定証伝達式

受賞件名 手づくり魚道の完成が出発点！～SDGs時代の川との付き合い方～

受賞団体 駒生川に魚道をつくる会

日 時： 令和4年4月22日(金) 10:00～10:20
場 所： 美幌町役場 2F 会議室
(網走郡美幌町字東2条北2丁目25)

1. 開 式
2. 認定証伝達・副賞贈呈 (北海道開発局長)
3. 挨拶 (北海道開発局長)
4. 祝 辞 (美幌町長)
5. 閉 式
6. 記念撮影

令和3年度 手づくり郷土賞選定案件概要(北海道内)

【大賞部門】手づくり魚道の完成が出発点！（北海道・美幌町）
～SDGs時代の川との付き合い方～



ポータブル魚道の設置



マイクロプラスチック調査

<活動内容>

落差工の設置により、駒生川上流に魚がいなくなったことを受け「上流に魚を呼び戻そう」との思いを共にするメンバーを中心に活動が始動。魚道づくりには、地域住民等、延べ230名を超える方が参加。近年は、河川水中のマイクロプラスチックについて、地元の高校と連携して、川の汚染状況等について調査を開始、今後プラスチックの使用量削減を目指す。また、手軽さを兼ね備えたポータブル魚道の開発・設置を新たに実施。地元に限らず、他地域への普及を進める。豊かな環境や資源を将来に残すべく、さらなるSDGs(持続可能な開発目標)に係る活動の発展に取り組んでいる。

<地域活動団体>

駒生川に魚道をつくる会

北海道開発局 開発調整課 宛 (FAX 011-709-9215)

申込書（報道関係者）

令和3年度 手づくり郷土賞認定証伝達式

日 時：令和4年4月22日（金）10時00分～

場 所：美幌町役場 2F会議室（網走郡美幌町字東2条北2丁目25）

受賞件名：手づくり魚道の完成が出发点！～SDGs時代の川との付き合い方～

受賞団体：駒生川に魚道をつくる会

氏 名

住 所

所属（会社名等）

連 絡 先

※ ご提供いただいた個人情報は、令和3年度手づくり郷土賞認定証伝達式に関する連絡以外では使用しません。

※ 新型コロナウイルス感染対策のため、取材の際はマスクの着用をお願いします。

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況によって、開催方法の変更又は開催中止となる場合があります。その場合は取材を希望されている方へ、前日までに連絡をさせていただきますので連絡先は必ず記載をお願いします。

国土交通大臣表彰「^{ふるさと}手づくり郷土賞」とは

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和3年度で36回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和3年度）

委員長	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	斉藤 俊幸	地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 准教授
委員	野澤 康	工学院大学 副学長

(敬称略)